
悶え蛾

たかぴょん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悶え蛾

【Nコード】

N1189G

【作者名】

たかぴょん

【あらすじ】

もだえ蛾犯罪がテーマのテーマ小説。あとは読んでみてからの楽しみどうぞ評価へ感想をお持ちくださいませ

深夜の公衆便所には、魔物が住んでいる。夜風に乗って遠方からの話し声が聴こえたり、錆び付いた街頭に群れる虫たちの無邪気な闘争心。何度も蛍光灯へアタックしては弾かれている。

ここ、八王子市内の新興住宅地も例外ではなかった。小田急線永山駅から、聖が丘行きのバスに乗り、多摩大学付属高校前で降りた。周りは闇夜の中で初秋の強風に驚かされている。同じ壁とパーツで建てられた住宅という商品が理路整然と並べられた集合住宅地。丘台の鋭角に厳めしく正座をした公衆便所。その大便室の中で、施錠をし寂しく膝と膝を合わせ座っていた。

あるアイドルタレントG子をレイプしたかった。自宅を着るようなお揃い水色半袖シャツと、水色ぶかぶかズボンを履いたKの年齢は十五歳。高校には通っていない。彼女がこの公園近くの高校に通っていることは、スポーツ新聞の三面記事で知った。別に同い年で、同じく早生まれの彼女が好きだったわけではない。単なる達成願望。Kは何でも出来る万能人間に成りたかった。老子の無為自然を実践する。強力で躍起にやろうとせず、ただ無用な手段を繰り返す。柔はよく剛を制す。東洋において、とくに古代中国のころから伝わるこの思想を実証したかった。

公園の夜は夏だというのに幾分寒かった。嵐が吹いている。雨は無い。たまに往来人が公衆便所を利用しようと、開かない扉を何度も蹴る。Kは黙って息を潜めた。相手はトイレが壊れている、あるいは貪欲なホームレスが出てきたら困ると思ったのか足早に去って行く。

天井に網羅された、蜘蛛の糸に掛かったばかりのもだえる蛾を見な

がら人生を考えた。明日はG子に会えるのか。校門の前で待ち伏せしよう。

朝が来た。いつの間にか二時間近く寝た。Kは老子道からの啓示を受け、そそくさと帰ることにした。

「まずは帰れ」

そんな思わせぶりを感じたのだ。しばらく徒歩で永山駅を目指し、山を切り裂いた住宅街を歩き、バスが走り出す頃になると、途中から乗った。洒落た東京都を走るバスの車内アナウンスも、あまり埼玉の実家とは変わっていなかった。

バスは終点永山駅に着き、Kは降りようとした。その時改札からG子がこの折り返しバス目掛けて走って来た。浅黒い顔。たしかに端正だったが、ブラウン管で見るほど可愛らしくは無かった。そして追っかけファンに対しての防御なのか男子生徒が、彼女の両サイドを仲良く守っていた。

同い年であるのに、彼女は年収一億円近くは稼ぐという。半分以上はCM出演料だ。Kはそれが許せなかった。

平凡で扱い易い人間になりたくはない。大人しく何偽り無く中庸を、仲間たちとスクラムを組んで歩く。子どもころはあんなにさまざまなことに憧れを抱いていたのに、三十歳前後で仲間と意識を合っってお互いに家庭や会社に身を引いてしまふ。赤信号みんなで歩けば怖くない。

そんな彼らを負け組だとは言いたくない。ただ胸に手を当てて、もう一度考えてみたい。やがてKは答えを出した。自分自身の存在意義は老子の無為自然説を実証し、世界人類を幸福にすること。ただあの頃は若かったので、人を傷付けることを知らなかった。今思えば当時のG子への嫉妬は、被害妄想だ。貧しい母子家庭で育ち、

低所得世帯が集まった団地に住み、勝手気ままに生きていた。あの頃のG子は生まれ持った素質や環境もあっただろうが、それに張り合うだけの苦しい努力もあつたはずだ。Kはそんなことも知らず、婦女暴行の罪を計画していた。どちらが社会に対して不誠実かは分かり切っているだろう。

公衆便所のもだえ蛾はあれ以来、健やかに羽ばたいたのだろうか。

にっちもさっちも行かないこの世間で、Kは今日も羽をばたつかせて考えるばかりである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1189g/>

悶え蛾

2010年12月13日19時58分発行